

横尾 慎一先生より第76回（平成29年度）『全国産業安全衛生大会』開催日：平成29年11月8日（水）・9日（木）・10日（金）の所感をいただきましたので掲載いたします。

横尾先生ホームページ <http://s-mj.jp/>（リンクしない場合はURLをコピーしてアドレスバーに貼りつけてください。）

（株）エレメントプランニング

『全国産業安全衛生大会 出席所感』

本年9月22日に厚生労働省より発出の『死亡災害撲滅緊急要請』の具現化をはかるべく緊迫した大会となりました。分科会各会場発表ステージ両袖に掲げられました「労災の犠牲者をこれ以上出さない。」・「職場の安全衛生活動の総点検を実施しよう。」を肝に銘ずる三日間でした。

具体的には、緊急要請内容の『安全作業マニュアルの遵守状況を確認するなど、職場内の安全衛生活動の総点検を実施すること』・『安全管理者、安全衛生推進者、安全推進者等を選任し、その職務を確実に遂行させるなど、事業場の安全管理体制を充実すること』・『雇入れ時教育等を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施すること』につきまして各事業場より対応発表がありました。

各分科会の我が国の最先端に行く安全衛生活動発表に感銘すると共に、当内容を一人でも多くの方へお伝えする使命を痛切に感じました。

昨年までの大会とは異なりまして本大会では三日間を通しまして特に『基本に立ち返る！整理・整頓・清潔・清掃・躰：5S徹底！』が声高々に叫ばれました。安全衛生教育分科会では、「単に修了証を発行すれば良いという法定教育ではなく、講師が責任を持って命の重さを伝えきる・受講者がそれを受け取り実践する」ことの周知徹底がはかられました。

また、新たな発信の言葉と致しまして、『ニュー5S』の提案がなされました。ニュー5S：「スキル」・「スピード」・「サイエンス」・「スピリット」・「セーフティ」の頭文字をとっての5S。ニュー5Sは、ソフト面からのアプローチを可能にします。職場における各場面で、このニュー5Sを考慮した対策を講じることで労働災害の防止・不良品の発生防止、更には職場の活性化をはかることができます。開会式にて主催の中央労働災害防止協会会長ご挨拶では、全てのお仕事の場において「対策新時代」を迎えております。・・・のお言葉がありました。より自主的な取り組み徹底時代の幕開けとなります。

平成30年は、国側の第13次労働災害防止計画がスタートとなります観点より、特に『墜落防止対策徹底』では、2m以上の作業床なき際のハーネス型安全带使用義務化（国家検定合格品使用）および特別教育の新設が注目の改正施行であり、『健康障害防止対策徹底』では、振動障害予防・有機溶剤中毒予防・じん肺予防・腰痛予防・熱中症予防・アスベスト被災防止の各種法定教育修了証所持確認が極めて重要な取り組みとなります。

労働災害防止の基本となります『5S』と新たな日々の心のあり方となります『ニュー5S』の徹底こそが、「対策新時代」の有効なる手段であることを実感致しました。「安全は一日にしてならず」・・・地道な取り組みの積み重ねの重要性をひしひしと感じました。

そして、『組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化』という我が国の平成29年度スローガンが、まさにあてはまる三日間でした。